

縣報

第貳號

明治三十三年四月廿四日
和歌山縣

○縣令

○和歌山縣令第三十號

明治三十二年^{十二}月^{十二}和歌山縣令第八十二號產婆規則施行細則中左ノ通改正シ本年五月一日ヨ
リ之ヲ施行ス

明治三十三年四月十四日

和歌山縣知事 小倉久

一 第一條中三月九月トアルヲ四月十月ト改ム

一 第二條中二月八月トアルヲ三月九月ト改ム

○和歌山縣令第三十一號

本縣海草郡紀ノ川口海面左記圖面單線區畫内ニ於テ毎年一月ヨリ四月迄ノ四ヶ月間ハ廣目
投網ノ廣目投網ニ限ル外九月ヨリ十二月迄ノ四ヶ月間ハ投網ノ外他ノ網具ノ使用ヲ禁
止ス

本令ニ違背シタルモノハ十日以下ノ拘留又ハ壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス

但明治二十七年本縣令第五十九號ハ本令發布ノ日ヨリ廢止ス

明治三十三年四月十四日

和歌山縣知事 小倉久

縣報 第二號

明治三十三年四月廿四日

○和歌山縣令第三十二號

明治三十三年^三月^三內務省令第七號第二十六條ニ依リ郡ノ財務ニ關スル規定左ノ通相定ム

明治三十三年四月十四日

和歌山縣知事

小倉久

郡財務ニ關スル規定

第一條 郡財産ヨリ生スル收入使用料手數料及ヒ町村分賦金其ノ他一切ノ收入ヲ歲入トシ

一切ノ經費ヲ歲出トシ歲入歲出ハ豫算ニ編入スヘシ

第二條 各年度ニ於テ決定シタル歲入ヲ以テ他ノ年度ニ屬スヘキ歲出ニ充ツルコトヲ得ス

第三條 各年度ニ於テ歲計ニ剩餘アルトキハ翌年度ノ歲入ニ編入スヘシ

第四條 歲入ノ誤納過納トナリタル金額ノ拂戻ハ各之ヲ收入シタル歲入ヨリ仕拂フヘシ

歲出ノ誤拂過渡トナリタル金額現金前渡前金拂概算拂經替拂ノ返納ハ各之ヲ支拂ヒタル

經費ノ定額ニ戻入スヘシ

第五條 出納閉鎖後ノ收入支出ハ之ヲ現年度ノ歲入歲出ト爲スヘシ

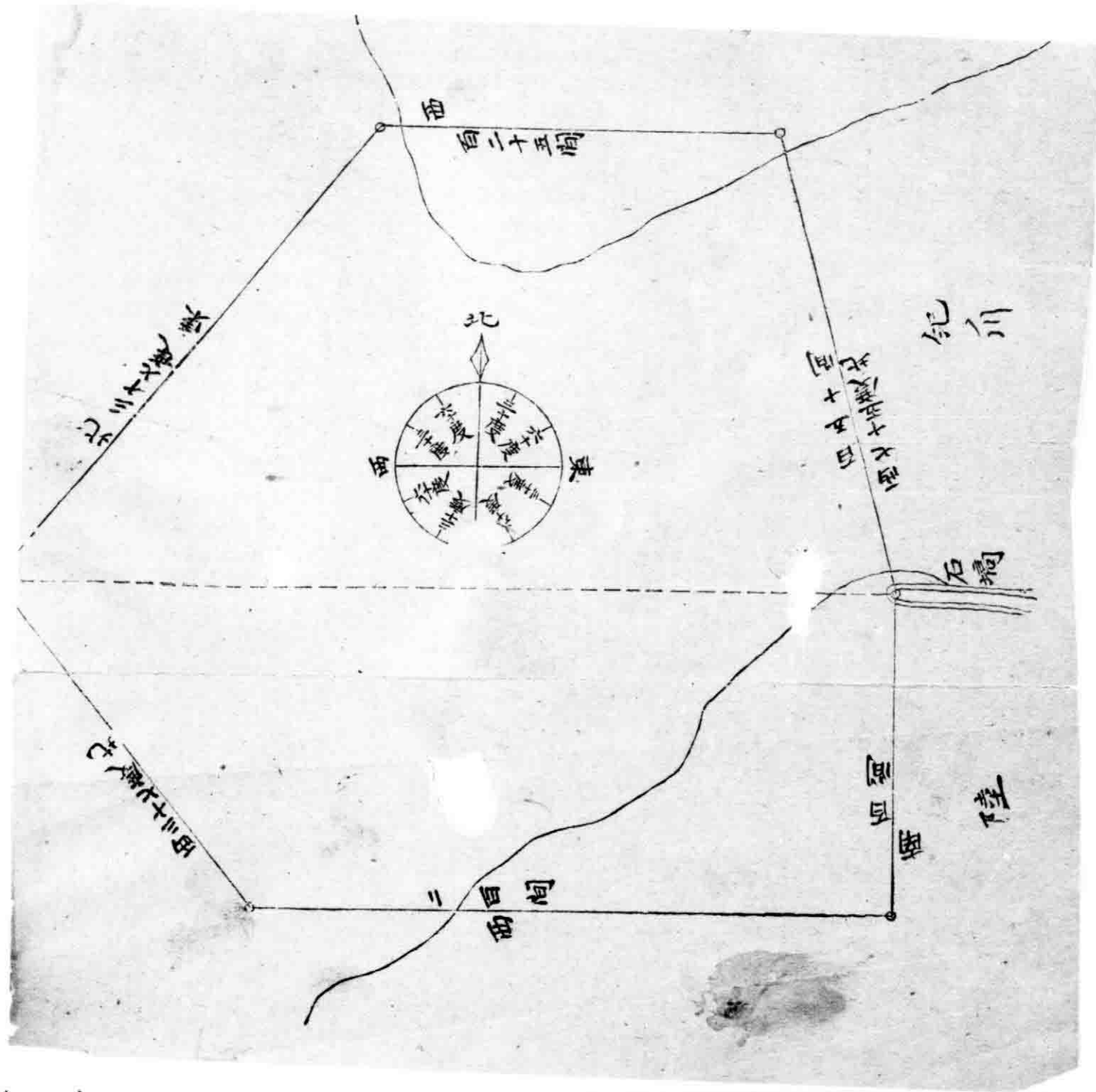
第四條ノ拂戻金戻入金ノ出納閉鎖後ニ係ルモノ亦同シ

第六條 繼續費ハ毎年度ノ仕拂殘額ヲ繼續年度ノ終リマテ遞次繰越使用スルコトヲ得

第七條 毎年度歲入歲出金ヲ出納スルハ翌年度五月三十一日限リトス

第八條 郡ノ出納ニ關スル事務ハ年度經過後三箇月以内ニ完整スヘシ

第九條 歲入歲出豫算ハ之ヲ經常臨時ノ二部ニ大別シ各部ヲ更ニ款項ニ區分スヘシ



第十條 歳入歳出豫算ヲ提出スルキハ豫算説明ヲ付スヘシ

第十一條 特別會計ニ屬スル歳入歳出ハ別ニ其豫算ヲ調製スヘシ

第十二條 豫算ハ會計年度經過後ニ於テ更正又ハ追加ヲ爲スコトヲ得ス

第十三條 郡ノ収入支出ニシテ命令ヲ發スルヲ要スルモノハ郡長又ハ其委任ヲ受ケタル官吏吏員其ノ他職員ニ於テ之ヲ發ス

第十四條 豫算ニ定メタル各款ノ金額ハ彼是流用スルコトヲ得ス豫算各項ノ金額ハ郡參事會ノ議決ヲ經テ之ヲ流用スルコトヲ得

第十五條 決算ハ豫算ト同一ノ區分ニ依リ之ヲ編製シ豫算ニ對スル過不足ノ説明ヲ付スヘシ

第十六條 會計年度經過後ニ至リ歳入ニ不足ヲ生シ歳出ニ充ツルニ足ラザレトキハ翌年度ノ歳入ヲ繰上ケ之ニ充用スルコトヲ得

第十七條 郡出納吏ノ保管ニ屬スル現金及收簿ハ郡長ニ於テ検査員ヲ命シ少クトモ毎年一回之ヲ検査セシムヘシ

郡出納吏解職セラレタルトキハ郡長ハ検査員ヲシテ現金及收簿ヲ検査セシムヘシ

第十八條 郡ニ屬スル現金ノ出納及保管ノ爲郡金庫ヲ置ク

第十九條 郡金庫ハ郡本金庫郡支金庫トス
郡本金庫ハ郡役所々在地ニ之ヲ置キ郡支金庫ハ郡長ニ於テ必要ト認ムル地ニ之ヲ置ク郡本金庫ハ郡支金庫ヲ總轄ス

第二十條 金庫事務ノ取扱ヲ爲サシムヘキ銀行ハ郡長之ヲ定ム

金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ハ郡長ノ許可ヲ得其ノ責任ヲ以テ他ノ銀行又ハ其他ノ者ヲシテ

金庫事務ノ一部ヲ取扱ハシムルコトヲ得

第二十一條 金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ハ現金出納保管ニ付責任ヲ有ス

第二十二條 金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ハ擔保ヲ郡長ニ提出スヘシ其ノ擔保ニ關シテハ知事

ノ認可ヲ經郡長之ヲ定ム

第二十三條 郡長ハ部金庫ヲ監督シ検査員ヲシテ定期及臨時ニ現金帳簿ヲ検査セシメ又必

要ト認ムルトキハ臨機ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第二十四條 本令ニ規定スルモノ、外必要ナル規定ハ郡長之ヲ定ム

第二十五條 本令ハ明治三十三年度所屬ノ收支ヨリ之ヲ適用ス

○ 告 示

○和歌山縣告示第九十號

兵庫縣神戸市榮町通六丁目二十二番邸

移民取扱人

日下部 正 一

右ノ者明治三十二年三月八日許可ヲ受ケ同年九月九日ヨリ移民取扱營業開始及當市元博勞町ニ番地ニ出張所設置ノ義届出タル旨所轄縣知事ヨリ通知アリタリ

明治三十三年四月十三日

和歌山縣知事

小 倉

久

○和歌山縣告示第九十一號

明治三十二年^{十二}月 和歌山縣告示第五百五十八號產婆試驗場規程中左ノ通改正ス

明治三十三年四月十四日

和歌山縣知事

小倉久

一第五項中紙ノ字ヲ削リ左ノ但書ヲ加フ

但答稿用紙ハ當日試驗場ニ於テ之ヲ交付ス

一第六項中紙ノ字ヲ削ル

○和歌山縣告示第九十二號

兵庫縣下出石郡資母村ニ於テ本月二日牛一頭炭疽ニ罹リ全三日斃死セシ旨通知アリタリ

明治三十三年四月十四日

和歌山縣知事

小倉久

○和歌山縣告示第九十三號

當縣々會議員中谷利一郎本月九日辭任ス

明治三十三年四月十四日

和歌山縣知事

小倉久

○和歌山縣告示第九十四號

明治二十三年法律第七十七號第一條ニ依リ縣參事會ニ於テ議決シ内務大臣ノ許可ヲ得日高

郡印南村ヲ印南町トス

明治三十三年四月十六日

和歌山縣知事

小倉久

○和歌山縣告示第九十五號

今般千葉縣ニ於テ巡查看守給助例施行順序別紙ノ通り改正シタル旨通知アリタリ
明治三十三年四月十六日
和歌山縣知事 小 倉 久

千葉縣巡查看守給助例施行順序

第一條 巡查看守給助例ニ依リ給助ヲ受クヘキ者ハ左ノ手續ヲ爲スヘシ

一年金ヲ受クヘキ者(退職及傷痍者並ニ寡婦孤兒)ハ別紙第一(一)(二)號書式ノ願書ニ郡區長及市町村長ノ與書證印ヲ受ケ他府縣在籍者ニ在リテハ其府縣廳ヲ經テ本縣廳ヘ出願スヘシ

二一時給助金ヲ受クヘキ者(祖父母兄弟姊妹並ニ孤兒滿二十歲以上癆篤疾)ハ別紙第一(三)(四)號書式ノ願書ニ親族(親族ナキトキハ其事由ヲ記スヘシ)ノ連署ヲ以テ郡區長及市町村長ノ與書證印ヲ受ケ他府縣在籍者ニ在リテハ其府縣廳ヲ經テ本縣廳ヘ出願スヘシ

三療治科ヲ受クヘキ者ハ(會計年度ノ跨ル)其ノ日數ト金額トヲ願書ニ詳記シ公立病院長或ハ主治醫ノ藥價表ヲ添ヘ所屬課署長ヲ經テ本縣主務課ヘ差出スヘシ

第二條 巡查看守給助例ニ依リ年金ヲ受クヘキ者ニハ第五號書式ノ証票ヲ付與スヘシ
第三條 年金ハ兩度(三月)ニ分テ既往半ケ年度分ヲ仕拂フヘシ

第四條 年金ヲ受クル者ハ仕拂期月ノ十日迄ニ年金証票ヲ本人居住地ノ市區町村長ニ差出シ第六號書式ノ証明書ヲ得テ第七號書式ノ請求書ト共ニ本縣廳ニ差出スヘシ但シ代理人ヲ以テ請求スルモノハ委任狀(該期ノ年)ヲ添付スヘシ(金ニ限ル)

第五條 年金ハ本縣廳所在地居住ノ者ニハ本縣廳ニ於テ仕拂ヒ其他ノ者ニハ本人ヘ送付スヘシ

第六條 年金仕拂ノ通知ヲ受ケタルトキハ即日其ノ通知書ヘ記名捺印ノ上差出スヘシ但シ代理人ヲ以テ受取ラントスルトキハ委任狀ヲ添付スヘシ

第七條 年金ヲ受クル者ニシテ左ノ各號ニ該ルトキハ届書ニ第一號ノ場合ハ其ノ官廳其他ノ場合ハ居住地區町村長ノ証明ヲ受ケ速カニ本縣廳ヘ差出スヘシ但シ改姓又ハ改名シタルトキハ給助年金証票ノ書替ヲ請求スヘシ

一俵給ヲ受クル官職ニ就キ又ハ之ヲ罷メタルトキ

二公權ヲ停止セラレタルトキ

三本籍又ハ住所ヲ轉シタルトキ

四改姓又ハ改名シタルトキ

五年金給助ノ証票ヲ失フタルトキ

六改印シタルトキ

第八條 年金ヲ受クル者ニシテ左ノ各號ニ該ルトキハ第一號及第二號ノ場合ハ本人ヨリ第三號及第四號ノ場合ハ戸主家族若シクハ親族ヨリ第七條ノ手續ニ準シ給助年金証票ヲ返納スヘシ

一孤兒滿二十歳ニ至リシトキ

二寡婦再嫁シタルトキ

三死亡シタルトキ

四公權ヲ剝奪セラレタルトキ

第九條 年金ヲ受クル者ニシテ左ノ各號ニ該ルトキハ戶主若シクハ親族ヨリ第七條ノ手續

ニ準シ届出ツヘシ

一失踪シタルトキ

二許可ヲ得スシテ外國ニ出テ一年以上歸朝セサルトキ

第十條 職務ノ爲メ負傷シタルモノ又ハ負傷後其ノ傷病ニ因テ若シクハ傳染病ニ罹リテ死

亡シタル者又ハ孤兒滿二十歳ニ至ルモ痲瘋疾ナルモノ給助ヲ出願スルトキハ公立病院長

若シクハ主治醫ノ診斷書ヲ差出スヘシ主治醫診斷書ハ公立病院長ヲシテ調査証明セシム

ルモノトス

(様式畧ス)

和歌山縣告示第九十六號

左記ノ者本日頭記ノ番號ヲ以和歌山縣產婆名簿ニ登錄ス

明治三十三年四月十九日

和歌山縣知事 小倉久

海草郡加太町大字加太二百三十二番地和歌山縣平民

第三百六十二號

寺西ヨシノ

那賀郡長田村大字南志野六百八十七番地和歌山縣平民

第三百六十三號

前田 トクエ

全郡山崎村大字會屋三十六番地和歌山縣平民

辻井 ふしゑ

第三百六十四號

伊都郡笠田村大字佐野五百八十八番地和歌山縣平民

第三百六十五號

松岡 きぬゑ

日高郡切目村大字島田二千二百三十八番地和歌山縣平民

第三百六十六號

木下 コマツ

全郡全村大字西ノ地百十六番地和歌山縣平民

第三百六十七號

津村 ミツ

全郡全村全大字六百九十三番地和歌山縣平民

第三百六十八號

溝脇 キン

西牟婁郡瀬戸鉛山村六百三番地和歌山縣平民

第三百六十九號

阪本 ゆき

東牟婁郡下里村大字八尺鏡野八十一番地和歌山縣平民

第三百七十號

關谷 はつ

全郡全村大字下里二千三百五十番地和歌山縣平民

第三百七十一號

濱口 よし

全郡全村全大字千十四番地和歌山縣平民

第三百七十二號

下地せん

○訓令

○和歌山縣訓令甲第三十九號

今回大演習ノ爲召集入團セシメラレタ。豫備役下士卒へ本月十日右召集ヲ解除シ即日退團

歸郷セシメラレタリ

明治三十三年四月十三日

和歌山縣知事

小倉久

○和歌山縣訓令甲第四十號

郡役所
警察署

警察分署

市役所

町村役場

客年來ベスト病豫防消毒等ノ儀ニ就テハ屢々訓達セシ次第モ有之候處本月八日大坂市西區

本田町通り二丁目ニ於テ猶又ベスト病者ノ死体發見候旨ヲ以テ注意方其筋ヨリノ通知アリ
 抑モ該病豫防消毒ノ件ニ關シテハ屢々及訓達候通ニ有之特ニ刻下温暖ノ候ニ際セシヲ以テ
 神佛參詣其他名地等へ遊歩ヲ試ミ日々縣下ニ往來スル旅客不尠殊ニ大坂地方トハ交通最モ
 頻繁ナルカ爲メニ何時該病毒ノ侵入スル哉モ保シ難キヲ以テ此際一層周到ナル注意ヲ要ス
 へキハ勿論該地方ヨリ來ル旅客船舶ニ對シテハ客年十一月訓令甲第六十六號ノ通り注意ヲ
 加ヘ萬一該病患者ノ死者又ハ疑似患者等ヲ發見シタルトキハ最モ嚴重ナル豫防消毒方法ヲ
 實行シ其時機ヲ失セス速ニ之レカ適切ナル措置ヲ爲ス等總テ其道策ナキヲ期スヘシ

明治三十三年四月十四日
 和歌山縣知事 小倉久

○和歌山縣訓令甲第四十二號

來ル五月八日ヨリ當廳内ニ於テ神職協議會相開候條明治二十九年十二月本縣訓令第四百四
 十一號縣社以下神社神職召集手續ニ依リ同日迄委員參着セシムヘシ

明治三十三年四月十六日
 和歌山縣知事 小倉久

郡 役 所
 市 役 所
 郡 役 所
 應 中 一 般
 警 察 署

同	分	署
監	獄	支
縣	立	學
縣	立	病
縣	立	測
市	役	候
縣	金	所
庫		所

明治三十一年十一月十一日 和歌山縣訓令第三百八十七號和歌山縣會計事務規程中左ノ通改正ス
 明治三十三年四月十八日 和歌山縣知事 小倉 久

第七條第三項中内務部第ノ下「四」ヲ「五」ニ改ム

第九條第二項中寄附金ハノ下「其寄附者郡ニ在ルモノハ郡長ニ於テ其他ハ主管ニ從ヒ」ノ二
 十四字ヲ削リ「所管長又ハ分任所管長ニ於テ」ノ十三字挿ム

第十條左ノ通改ム

調定ヲ取扱フ所管長又ハ分任所管長及市長等ハ日々領收シタル別符ノ金員ヲ集計シ縣金
 庫領收高ト照査スヘシ

第十一條第十二條第九十六條刪除ス

第十四條中「出納吏」ノ三字ヲ「所管長又ハ分任所管長」ノ十字ニ改ム

證

但何年何月何日寄附許可ノ分

右領收候也

明治何年何月何日

縣廳(何郡)縣支金庫印

縣金庫
割印

別

第何號何郡市何町村何某納

明治何年度寄附金何費寄附金

臨時部

一金何程

縣金庫
印

但何年何月何日寄附許可ノ分

明治何年何月何日

縣廳(何郡)縣支金庫へ拂込

符

訓令甲第四十三號
書式第四號

用紙適宜 縱五寸ノモノ二枚 橫三寸ノモノ一枚 接續

徵 收 告 知 書

第 何 號 何 郡 市 何 町 村 何 某 納

明治何年度 縣歲入財產收入又ハ雜收入 何々收入又ハ何々料
經常部(臨時部)

一金 何 程

但(何年何月ヨリ何月マテ何々ノ貸渡料又ハ何々賣拂代ト其ノ收入金ノ細目ヲ記入スヘシ)

右何年何月何日限リ縣廳(何郡)縣支金庫へ拂込ヘシ

明治何年何月何日

所管長又ハ分任所管長 官 氏 名 印

縣金庫 割印

第 何 號 何 郡 市 何 町 村 何 某 納

證

別

符

但(前葉ト全一ノ記入ヲナスヘシ)

右領收候也

明治何年何月何日

縣廳(何郡)縣支金庫印



第何號

何郡市何町村

何某納

明治何年度

縣歲入財産收入又ハ雜收入

何々收入又ハ何々料

經常部(臨時部)

一金何程



但(前葉ト全一ノ記入ヲナスヘシ)

明治何年何月何日

縣廳(何郡)縣支金庫へ拂込

納 入 告 知 書

訓令甲第四十三號
書式第六號

用紙適宜 縱五寸ノモノ二枚 縱五寸ノモノ一枚 接續
横四寸 横三寸ノモノ一枚 接續

第 何 號	何 郡 市 何 町 村	第 何 號	何 郡 市 何 町 村
明 治 何 年 度	寄 附	金 何 費 寄 附 金	金 何 費 寄 附 金
臨 時 部			

一金何程

但何年何月何日寄附許可ノ分

右何年何月何日限り縣廳(何郡)縣支金庫へ拂込ヘシ

明治何年何月何日

郡市長又ハ
分任所管長

官 氏 名 印

縣金庫
割印

第 何 號 何 郡 市 何 町 村 第 何 號 何 郡 市 何 町 村 第 何 號 何 郡 市 何 町 村

第十七條左ノ通改ム

既納金ニ過課納アルヲ發見シタルトキハ所管長又ハ分任所管長ニ於テ收入報告書中へ式ノ如ク何圓過納又ハ外何圓調定減額ト朱記スヘシ其出納ハ本則第四章ニ依ルヘシ

第六十八條左ノ通改ム

歲人中縣稅ノ決算ハ其全年度ヲ通シテ書式第四十四號ノ決算書ヲ製シ五月十五日以内ニ知事へ提出スヘシ

書式中第四號及第六號別紙ノ通改ム

○和歌山縣訓令甲第四十四號

郡	役	所
縣	立	學
市	役	所
市	町	村
私	立	學
校	校	校

明治三十三年三月文部省令第四號ヲ以テ學生々徒身體檢査規定ヲ定メラレタルニヨリ學校醫ヲ設ケタル學校ニ於テハ同規程第一條ノ時期ニ於テ努メテ精確ノ檢査ヲ執行セサルヘカラズ然ルニ從來生徒ノ身體檢査方法ヲ見ルニ往々學校職員等ヲシテ隨意ノ時期ニ於テ之ヲ執行セシムルカ爲メ調査ノ精確ヲ欠クモノ少ナカラス如此ハ徒ニ無用ノ手數ヲ勞シ統計上

何等ノ効益ヲ見サルノミナラス延テ全國統計上多大ノ影響ヲ及ボスノ結果ヲ生スベキヲ以テ將來檢査ノ時期ニ當リテハ學校醫ヲシテ專ラ其職責ニ當ラシメ精確ノ統計表ヲ調製シ期限ヲ失セス報告スベシ又學校醫ヲ置カサル學校ト雖モ可成醫師ニ囑託シテ檢査ヲ行ヒ規定ノ期限ニ報告スベシ

明治三十三年四月十八日

和歌山縣知事

小倉久

○和歌山縣訓令甲第四十五號

郡 役 所
市 役 所

本年二月二十八日訓令甲第十八號海外渡航者ニ對スル取調條項第一項中（移民ニシテ二名ノ保証人ニ依リ）ノ四字ヲ刪除ス

明治三十三年四月十九日

和歌山縣知事

小倉久

明治三十三年四月廿三日印刷

明治三十三年四月廿四日發行

和歌山縣

和歌山市九番丁九番地

印刷人

前川初之助

印刷所

和歌山市十二番丁十三番地
和歌山印刷株式會社